

社会教育研究部門

「青年の自立と教育文化」研究部会（第54回）

日時：2017年8月25日（金）14:00～16:00

場所：野間教育研究所 2F 閲覧スペース

出席：田嶋一・上野浩道・内藤俊史・青柳路子・齋藤智哉 各兼任研究員
吉久知延所長・金沢千秋・泉水里香

内容：（1）内藤俊史氏の研究中間報告：2017年4月発表の続き。「青年期における心理的自立—感謝感情のあり方を通して（仮）」

◆全体の再構成案

1. 青年期における心理的自立

- ①心理的自立における関係の再構築
- ②心理的自立と感情

2. 青年期における関係の再構築と感謝

- ①青年期に至るまでの感謝の発達
 - ・感謝のルールの習得
 - ・応報の感謝から関係の感謝への変化
 - ・青年期に至るまでの感謝の変化—まとめ
- ②青年期以降における感謝—個別的な関係を越えた感謝に向けて
 - ・青年期における感謝のもつ課題—公正性と関係性
 - ・親への感謝に関する研究が示すもの
 - ・青年期に想定される感謝の展開—まとめ
 - *青年期前期（およそ12歳～15歳）
 - *青年期中期（およそ15歳～18歳）—依存への反省、すまなさ
 - *青年期後期—大人社会への参加、感謝

3. （仮）感謝を妨げるもの

4. 心理的自立は感謝を高めているのか—試みの調査

◆青年期の前期にみられるとされる親に対する批判的な態度（西平）や、自虐的心理についてのナルシシズム研究からの示唆（文献研究）

- ・表1と表2「感謝の条件と感謝を妨げるもの」を用いて説明

・次回研究会は、9月22日（金）14時～。青柳研究員報告

・次々回は、10月20日（金）14時～。齋藤研究員報告